



思い出の校舎ありがとう



▲感謝の気持ちを込めトイレを掃除

掃除を通して自分の心を磨く「トイレ掃除学習」が2月27日、雲井小学校で行われました。

「滋賀掃除に学ぶ会」の皆さんに指導を受け、お世話になった校舎に感謝の気持ちを込めて、6年生30名がトイレ掃除に汗を流しました。

同会は、「心磨き」をめざして公共施設などのトイレを中心に掃除を行っている団体で、当日は約50名が参加しました。

卒業を控えた子どもたちは、お世話になったトイレを心を込めて磨きあげていました。

「心を磨く」トイレ掃除学習

甲南第二小学校・甲南高校出前授業



▲液体窒素を使った実験を行う甲南高校生

甲南高校「バイオとかかく」系列の生徒による授業が2月18日、甲南第二小学校で行われ、科学コンピュータクラブの18名に科学実験を披露しました。
この出前授業は、実験を通して身の回りの現象に関心を持ってもらおうと毎年同校で行われているものです。
今回は、羽根の無い「リンググライダー」を作って飛ばす実験や、マイナス196℃になる液体窒素を使った実験を行いました。
高校生は、液体窒素で風船の中の空気を液体に変えたり、瞬時に凍らせた花を手でバラバラにしたりと手品のように見せ、生徒たちに分かりやすく説明しました。

高校生が科学の不思議を披露

あいこうが「うた」プロジェクト入賞作品表式・記念講演会



▲対談講演する壇ふみさんと坂本信幸さん

市は、平成24年度からの事業「あいこうがうた」プロジェクトとして身近な風景や大切な人を感じる気持ちを詠んだ短歌を募集しました。
市内外から寄せられた約2,300首の中から、入賞した30首を発表する表彰式が3月2日、あいこうが市民ホールで開催され、約200名が参加しました。
記念講演会では、女優の壇ふみさんと高岡市万葉歴史館坂本信幸館長が対談し、万葉集の魅力について語りました。
作品が詠みあげられるたびに会場からは感嘆の声や和やかな笑顔があふれ、参加者は一首一首のうたに込められた思いを感じ取っていました。

身近な風景や人を思う気持ちをうたに込めて



▲中嶋市長から賞状を受ける受賞者

各部門の最優秀受賞者は次の皆さんです。なお、全ての受賞作品は、市ホームページに掲載しています。

一般の部／谷井かつ子(信楽町)

穴窯の攻めに入りたる火の喰り
薪割る音や暁闇の冷え

中学生の部／三輪 現(城山中3年)

頑張れよその一言がエネルギー
父の激励朝の恒例

小学生の部／吉本天祥(貴生川小6年)

物言わず高くそびえる飯道山
すくそほに在る我父のよう

市は、これらの作品を様々な活用し、市の魅力として発信していきます。

柏木小学校親子研修会

柏木小学校の親子研修会が2月14日、同校で行われ、全校生徒193名と保護者が参加しました。
当日は、レスリング競技に双子で五輪に出場した、北京オリンピック銅メダリストの湯元健一選手とロンドンオリンピック銅メダリストの湯元進一選手が講師として招かれました。
講演で、自らの経験から「自信を持って努力すれば夢は叶う」と伝え、後、実技や子どもたちの対戦が行われ、会場からは歓声があがりました。



▲これまでの経験を話す湯元健一・進一選手

心を一つに竹太鼓を演奏

世代間交流のつどい



▲参加者全員で竹太鼓を演奏

岩上自治振興会が主催する世代間交流のつどいが2月23日、岩上体育館で開催され、地区の皆さん約200名が参加しました。

この催しは、和太鼓を通じて世代を越えた交流を深めようと昨年からはじまったものです。

同地区で活動する岩上たいこサロンをはじめプロの和太鼓奏者こばやしきみこさんなどが出演し、力のこもった演奏を披露しました。つどいの最後は、全員が参加しての竹太鼓で、子どもからお年寄りまでが心を一つに童謡に合わせて演奏しました。

夢は叶えるものメダリストが講演